

第4次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）（案）について

1 計画の趣旨，計画の位置付け及び計画期間

(1) 計画の趣旨

呉市では，平成30年3月に「第3次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）」（以下「第3次計画」といいます。）を策定し，市民の健康づくりや食育の推進を支援する取組を行ってきました。

第3次計画は，本年度が最終年度であることから，市民アンケート調査を実施し，計画目標の達成状況や取組内容について評価を行うとともに，国の健康日本21（第三次）及び県の動向を踏まえ，市民の健康の保持・増進を図るため，第3次計画を引き継ぐ「第4次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）」（以下「第4次計画」といいます。）を策定します。

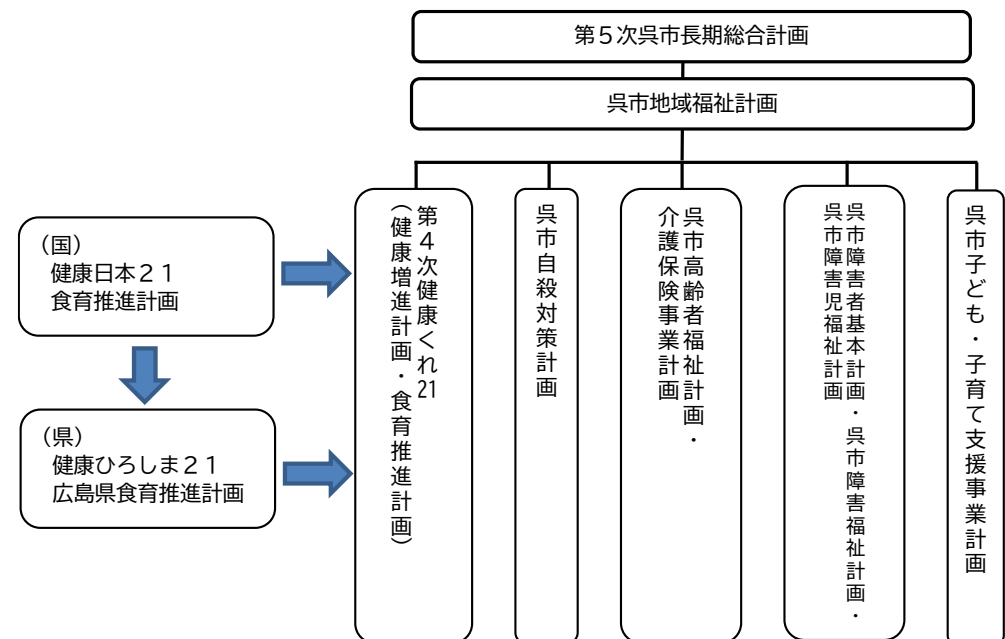
なお，健康増進計画と食育推進計画は，相互に共通する分野の取組が多いことから，第4次計画においても一体的に策定し，運動，こころ，食育等の各分野で健康づくりを推進し，健康寿命の延伸を目指します。

(2) 計画の位置付け

第4次計画は，第5次呉市長期総合計画（令和3年3月策定）を上位計画として位置付け，市民の健康に関する支援を行うため，の関連する計画と整合性を図りながら策定することとします。

(3) 計画期間

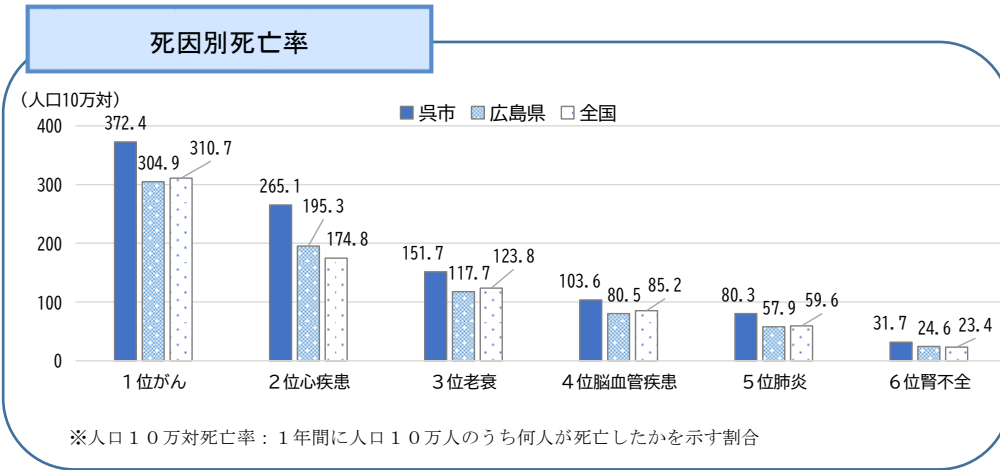
令和6年度から令和11年度までの6年間



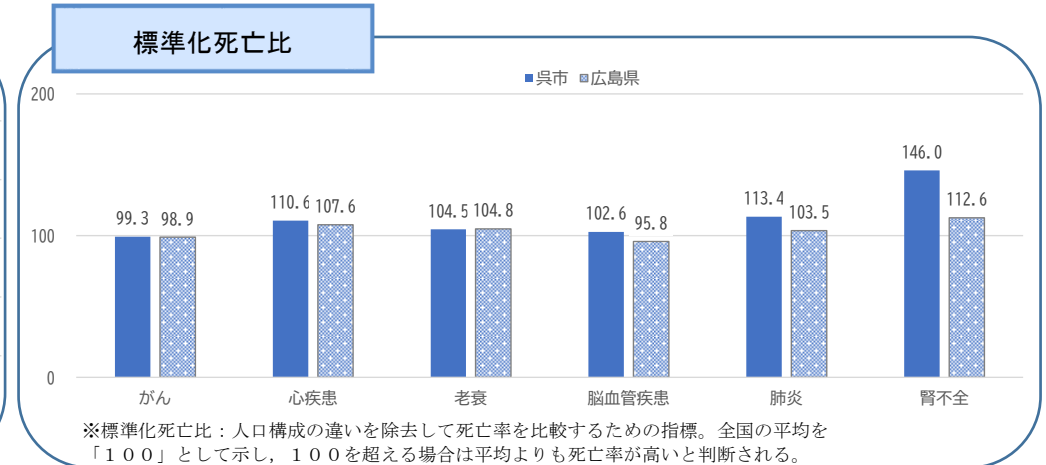
2 呉市の現状

(1) 死因別死亡率及び標準化死亡比

死因別死亡率は、がん、心疾患、脳血管疾患及び腎不全といった生活習慣病による死亡率が全国及び広島県よりも高くなっています。また、標準化死亡比は、心疾患、脳血管疾患及び腎不全といった生活習慣病による死亡率が全国及び広島県よりも高くなっています。



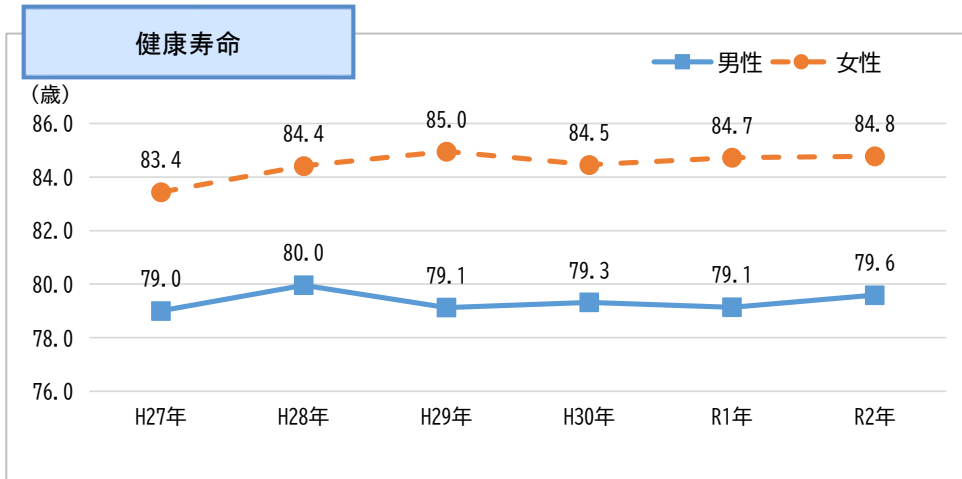
資料 令和3年人口動態統計



資料 令和3年人口動態統計

(2) 健康寿命

令和2年の健康寿命は、男性は79.6歳、女性は84.8歳となっており、5年前の平成27年と比較すると、男性は0.6年、女性は1.4年延びています。国や県の日常生活動作が自立している期間の平均は令和2年で国が男性80.1歳、女性84.4歳、県が男性80.7歳、女性85.0歳となっており、大きな差はありません。



<健康寿命とは>

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

<算定方法>

日常生活動作が自立している期間の平均（客観的指標）

日常生活動作が自立している状態を健康な状態とし、要介護2～5を不健康な状態、それ以外を健康（自立）な状態とする。

※国・県が公表している健康寿命は3年に1度実施される国民生活基礎調査を用いて算出（主観的指標）

3 第3次計画の評価と考察

(1) 健康増進計画

ア 評価の結果

令和4年度の市の取組及び呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査の結果における達成状況について評価しました。市の行動目標では、◎「目標に達した」と○「目標に達していないが改善傾向にある」の合計が全体の約64.7パーセント（11項目／17項目）、目標とする項目では、◎「目標に達した」と○「目標に達していないが改善傾向にある」の合計が全体の約48.3パーセント（14項目／29項目）となり、それぞれ改善が見られました。

【市の行動目標の評価】（市が取り組んでいく目標）

評価区分	項目数	割合
◎ 目標に達した	9項目	52.9%
○ 目標に達していないが改善傾向にある	2項目	11.8%
△ 改善していない	6項目	35.3%
合計	17項目	-

【目標とする項目の評価】（市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標）

評価区分	項目数	割合
◎ 目標に達した	7項目	24.1%
○ 目標に達していないが改善傾向にある	7項目	24.1%
△ 改善していない	15項目	51.7%
— 判定不能	(2項目)	-
合計	29項目	-

イ 第3次計画の評価と考察（主なもの）

重点分野	市の行動目標 目標とする項目	基準値	実績値	目標値	評価
		H29年度	R4年度	R4年度	
身体活動・運動	いつでもどこでも+10(プラステン)運動の普及啓発	73回※	126回	100回	◎
	運動習慣のある人の割合の増加(1回30分以上の運動を週2回以上)	20～64歳	設定なし 調査内容の変更により数値なし	男性34.0% 女性33.0%	—
		65歳以上	設定なし 調査内容の変更により数値なし	男性35.0% 女性26.0%	—
歯と口の健康	むし歯予防の啓発回数の増加	13回※	16回	14回	◎
	12歳児で一人平均むし歯数の減少	0.76本※	0.83本	減らす	△
こころの健康	こころの健康づくりの啓発回数の増加	206回※	234回	220回	◎
	睡眠による栄養が十分にとれていない人の割合の減少	26.7%	40.0%	25.0%	△
たばこ・アルコール	幼児健康診査での啓発	設定なし	67回	53回	◎
	妊娠中の喫煙をなくす	3.3%※	3.0%	0.0%	○
	妊婦への禁酒指導	98.6%	98.7%	100.0%	○
	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合の減少	成人男性	13.3%	35.0%	12.1%
成人女性		7.7%	18.6%	7.1%	△

※H28年度数値

重点分野	市の行動目標 目標とする項目	基準値	実績値	目標値	評価	
		H29年度	R4年度	R4年度		
健康チェック	健康づくり事業における健診啓発	212回※	218回	222回	○	
	がん検診の受診率向上	胃がん検診	4.9%※	3.0%	40.0%	△
		肺がん検診	4.5%※	3.0%	40.0%	△
		大腸がん検診	4.8%※	3.0%	40.0%	△
		子宮頸がん検診	22.6%※	22.5%	50.0%	△
		乳がん検診	13.2%※	11.9%	50.0%	△
生活習慣病等の重症化予防	生活習慣病重症化予防プログラム実施人数割合	定員の84.0%※	定員の55.7%	定員の90.0%	△	
	生活習慣病重症化予防プログラム実施者の検査数値の維持改善割合	7割※	8.8割(R3)	8割	◎	
	理解を深めるための普及啓発を行った回数	91回※	144回	120回	◎	
	認知症サポーター養成講座延べ受講者数(累計)	14,479人※	18,794人	18,800人	○	
介護予防と社会参加	週1回以上の住民主体の通いの場の増加	21か所※	90か所	45か所	◎	
	地域サロン開催回数の増加	2,517回※	2,903回	2,800回	◎	

資料 令和4年度取組実績及び呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査から集計

(2) 食育推進計画

ア 評価の結果

健康増進計画と同様に、令和4年度の市の取組及び呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査の結果における達成状況について評価しました。市の行動目標では、◎「目標に達した」と○「目標に達していないが改善傾向にある」の合計が全体の約54.5パーセント（6項目／11項目）、目標とする項目では、◎「目標に達した」と○「目標に達していないが改善傾向にある」の合計が全体の25.0パーセント（3項目／12項目）となり、それぞれ改善が見られました。

【市の行動目標の評価】（市が取り組んでいく目標）

評価区分	項目数	割合
◎ 目標に達した	6項目	54.5%
○ 目標に達していないが改善傾向にある	0項目	0.0%
△ 改善していない	5項目	45.5%
— 判定不能	(1項目)	—
合計	12項目	—

【目標とする項目の評価】（市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標）

評価区分	項目数	割合
◎ 目標に達した	2項目	16.7%
○ 目標に達していないが改善傾向にある	1項目	8.3%
△ 改善していない	9項目	75.0%
合計	12項目	—

イ 第3次計画の評価と考察（主なもの）

重点分野	市の行動目標		基準値	実績値	目標値	評価
	目標とする項目					
食生活	朝ごはんを食べよう運動の啓発		100%	100%	100%	◎
	朝食を毎日食べている人の割合の増加	小学校6年生	91.5%	87.2%	100.0%	△
		中学校3年生	85.0%	83.7%	100.0%	△
		15歳以上	88.0%	88.1%	93.0%	○
食の安全・安心	HACCP衛生管理の普及促進		設定なし	61.40%	20.0%	◎
	食の安全に関する知識を持っている人の割合の増加		47.5%	40.5%	55.0%以上	△
生活習慣病等の予防・改善	世代に応じた適塩及び減塩の教室の回数の増加		33回※	4回	38回	△
	呉市の減塩の取組を知っている市民の割合の増加		45.9%	33.1%	50.0%	△
共食の推進	共食に関する啓発実施数の増加		60回※	56回	63回	△
	普段、家族と一緒に食事をしている子どもの割合の増加	年長児	97.7%	98.9%	H29基準値から増やす	◎
		小学校6年生	96.8%	96.3%		△
		中学校3年生	89.0%	92.4%		◎
地産地消の推進と食文化の継承	水産教室の実施回数の維持		26回※	5回	26回	△
	地元の食材を意識して購入している人の割合の増加		43.5%	36.5%	48.0%	△

※H28年度数値

資料 令和4年度取組実績及び呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査から集計

4 現状と課題

呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査（一部抜粋）並びに国及び県等の調査を基に分析しました。

※ライフステージ：妊娠・出産期，乳幼児期（0～6歳），学童期（7～14歳），青年期（15～24歳），壮年期（25～44歳），中年期（45～64歳），高齢期（65歳以上）で分類

(1) 健康増進計画

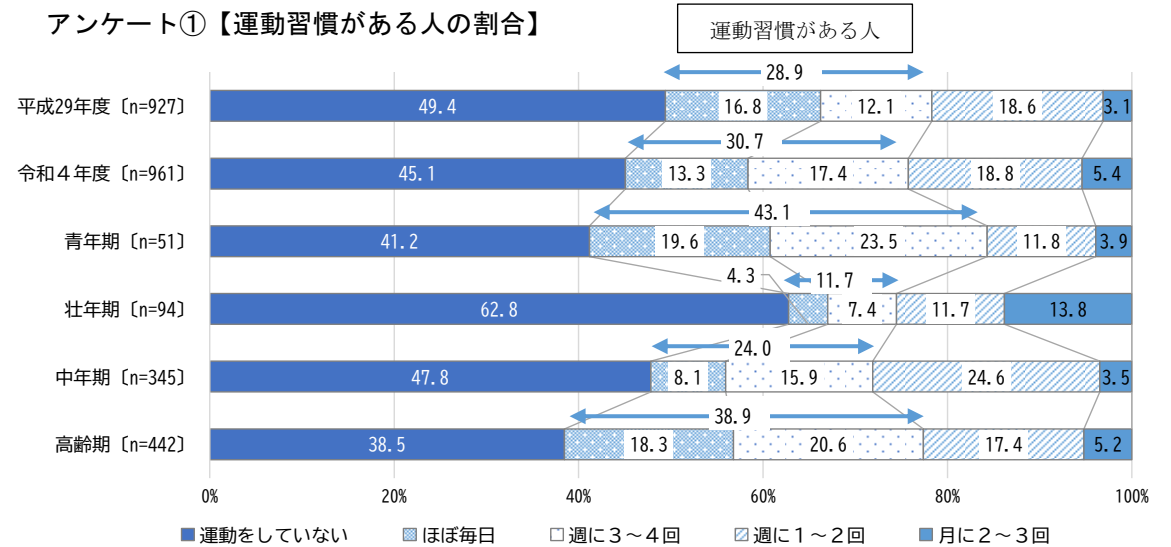
ア 身体活動・運動

(ア) 運動習慣の定着 アンケート①

運動習慣がある*と回答した人の割合は全体で30.7パーセントとなっており，前回調査と比較すると1.8ポイント増加しています。ライフステージ別に見ると，壮年期が11.7パーセント，次いで中年期は24.0パーセントと低くなっています。

※1日合計30分以上・週3回以上

アンケート①【運動習慣がある人の割合】

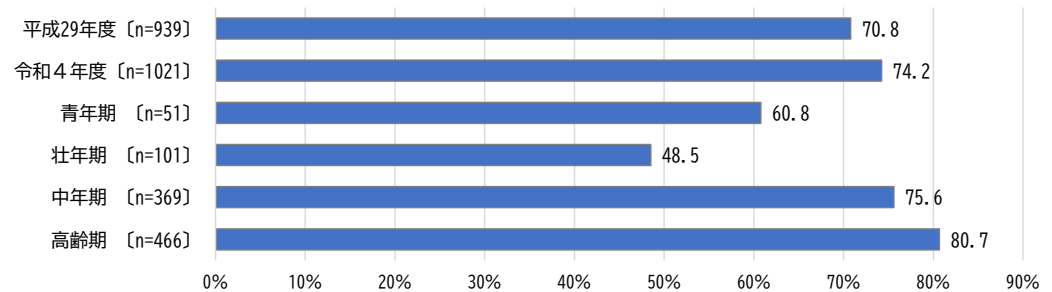


資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

(イ) 日常生活活動 アンケート②

「日常生活の中で意識的に体を動かすようにしている」と回答した人の割合は，全体で74.2パーセントと前回調査と比較して3.4ポイント増加していますが，目標値である76パーセントに達していません。ライフステージ別に見ると，壮年期は48.5パーセントと意識的に体を動かす人の割合が低く，壮年期の日常生活活動量の低下が問題です。

アンケート②【日常生活の中で，意識的に体を動かすようにしている人の割合】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

イ 栄養・食生活

食育推進計画の中に含めます。

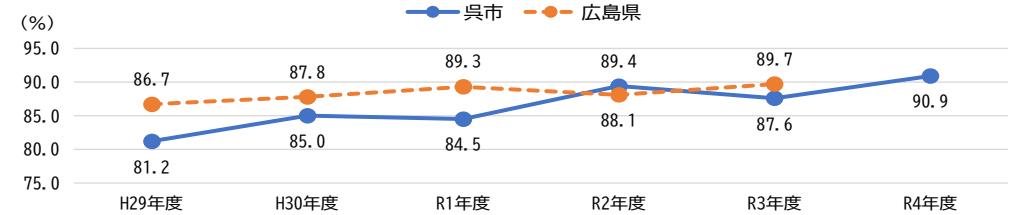
ウ 歯と口腔^{こうくう}の健康

(ア) 歯科疾患の予防

3歳児でむし歯のない子どもの割合は、令和4年度が90.9パーセントで、前回目標値の85.0パーセントを上回る良好な状況となっています。

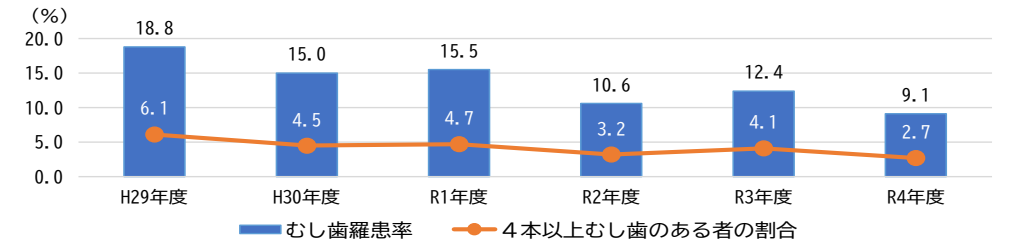
しかし、むし歯が全くない3歳児がいる一方で、4本以上のむし歯がある3歳児がおり、むし歯が進行して重症化する可能性があることが懸念されます。

【3歳児でむし歯のない子どもの割合】



資料 呉市3歳児健康診査, 地域保健・健康増進事業報告

【3歳児で4本以上むし歯のある子どもの割合】

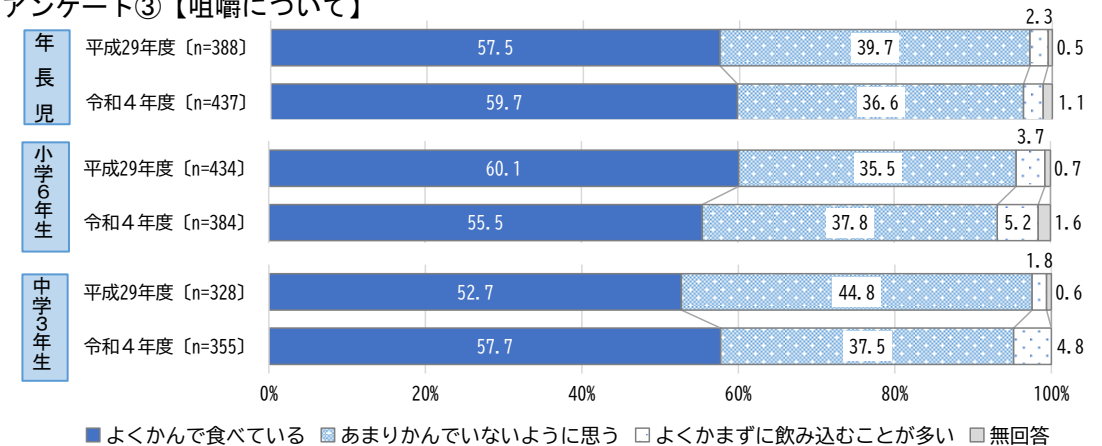


資料 呉市3歳児健康診査

(イ) 口腔機能の獲得・維持・向上 アンケート③

「子どもがよくかんで食べていると思う」と回答した年長児の保護者の割合は、59.7パーセントで前回調査の57.5パーセントから2.2ポイント増加しています。小学6年生では55.5パーセント、中学3年生では57.7パーセントが「よくかんで食べている」と回答しています。しかし、いまだによくかんで食べる習慣が定着していない年長児・小中学生が約4割いることが問題です。

アンケート③【咀嚼^{そしゃく}について】



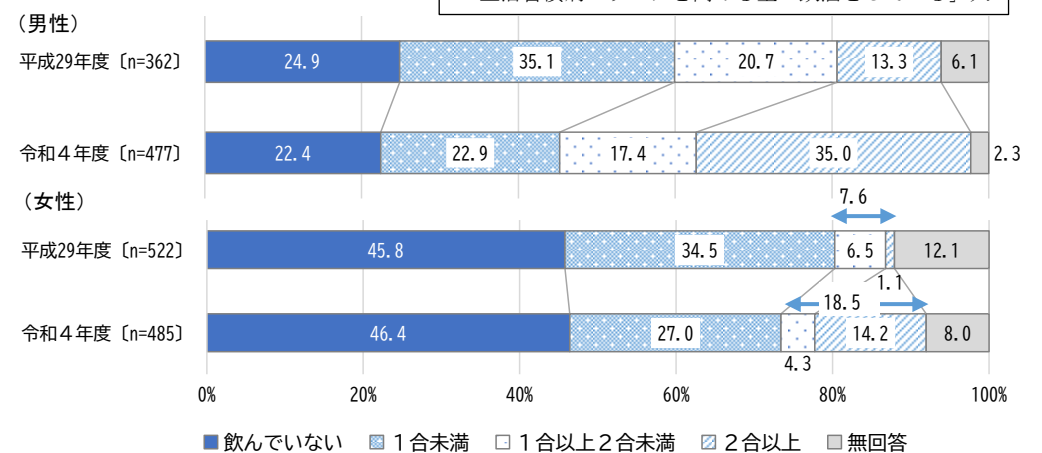
資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

エ 飲酒・喫煙

(ア) 飲酒 アンケート④

飲酒をしている人のうち、生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしているとされる人は、男性で1日当たり日本酒2合以上、女性で1日当たり日本酒1合以上を飲む人です。該当する人の割合が男性で35.0パーセント、女性で18.5パーセントで、前回調査と比較すると男性で21.7ポイント、女性で10.9ポイント高く、引き続き、適正飲酒の啓発が必要です。

アンケート④【飲酒の量】

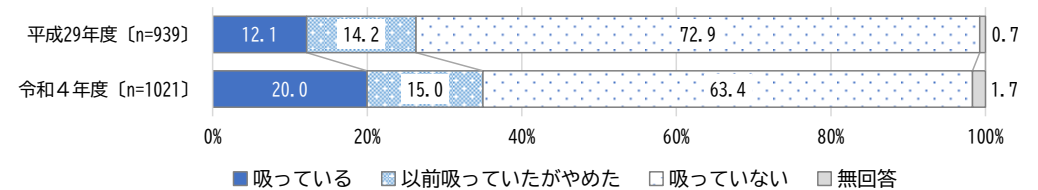


資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

(イ) 喫煙 アンケート⑤⑥

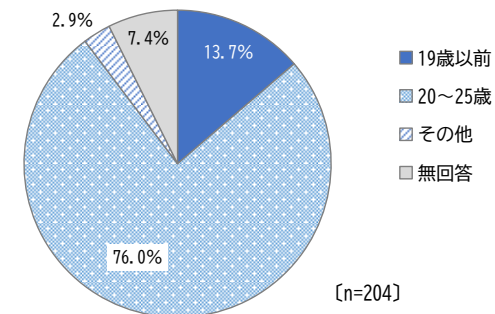
「吸っている」と回答した人の割合が20.0パーセントで、前回調査より7.9ポイント増加しています。また、喫煙を始めた年齢について、20～25歳と回答した人の割合が76.0パーセントと高く、若いときからの喫煙は、健康リスクを高めるほか、よりニコチン依存症に陥りやすいことが問題です。

アンケート⑤【喫煙について】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

アンケート⑥【喫煙を始めた年齢】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

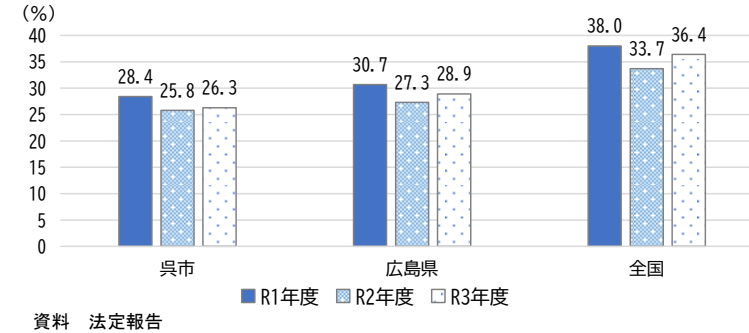
オ 生活習慣病発症・重症化予防

(7) 生活習慣病発症予防

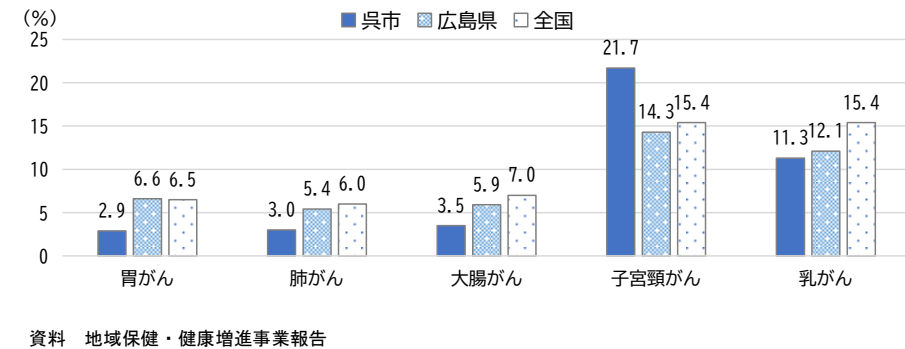
生活習慣病やがんは、自覚症状に乏しいため、定期的に健康診査やがん検診を受診し、自分の健康状態を把握することが、発症を予防し、早期発見・早期治療のための有効な手段となります。しかし、本市では全国及び広島県と比較して、健康診査やがん検診の受診率が低い状況にあります。

呉市アンケート調査では、健康診査を受けていない理由（アンケート⑦）として、「すでに医療機関で治療を受けている」「体調が悪くなったら病院に行く」「特に困ったことがなかった」と回答した人の割合が高く、健康診査の有効性について理解を高めることが課題です。

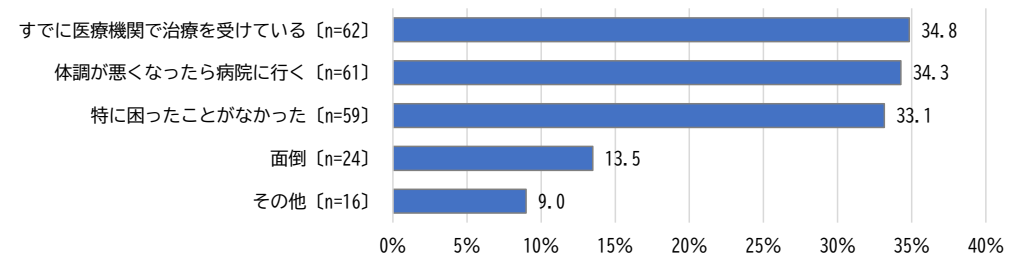
【特定健診受診率推移】



【がん検診受診率比較（令和3年度）】



アンケート⑦【健康診査を受けていない理由（上位5項目）】



(イ) 生活習慣病重症化予防

糖尿病や高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病は、進行すると命に関わる合併症を引き起こしたり、要介護状態となる可能性があります。後期高齢者のうち要支援・要介護者の疾病別医療費は、骨折に次いで生活習慣に起因するとされている心疾患、腎不全、脳梗塞が多い状況です。

【呉市後期高齢者の要支援・要介護度別の疾患別医療費（令和3年度）】

順位	介護度なし（29,903人）			要支援あり（5,227人）			要介護あり（9,653人）		
	疾病名	医療費 （円）	割合 （%）	疾病名	医療費 （円）	割合 （%）	疾病名	医療費 （円）	割合 （%）
1	腎不全	1,585,011,331	7.7	骨折	532,472,814	8.5	骨折	1,264,805,632	8.3
2	その他の心疾患	1,347,369,556	6.5	その他の心疾患	524,218,147	8.4	その他の心疾患	1,070,525,240	7.0
3	その他の悪性新生物 <腫瘍>	1,072,629,015	5.2	腎不全	419,025,454	6.7	脳梗塞	708,631,778	4.6
4	その他の消化器系の疾患	941,129,366	4.6	骨の密度及び構造の障害	299,764,104	4.8	その他の消化器系の疾患	692,098,208	4.5
5	高血圧性疾患	923,111,953	4.5	関節症	281,043,071	4.5	アルツハイマー病	680,570,511	4.5
	∴			∴			∴		
	計	20,621,216,419	100.0	計	6,270,204,250	100.0	計	15,245,702,830	100.0

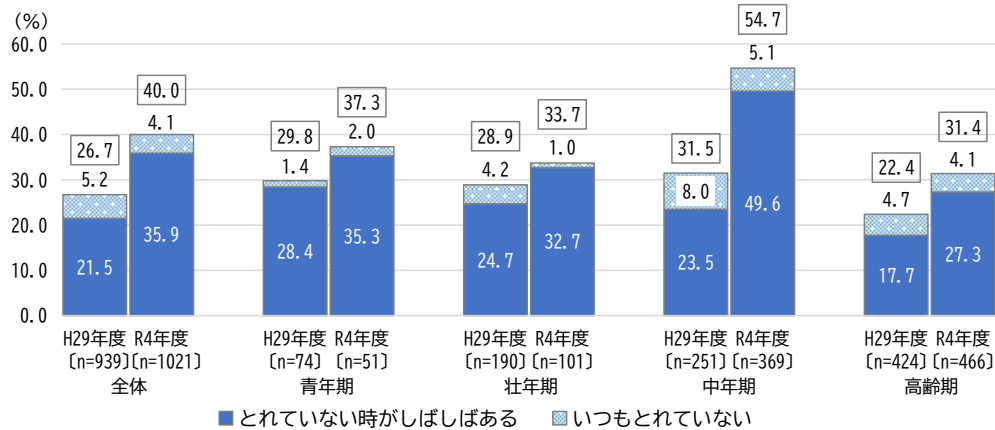
資料 呉市健康管理増進システム

カ こころの健康

(7) 睡眠と休養 アンケート⑧⑨

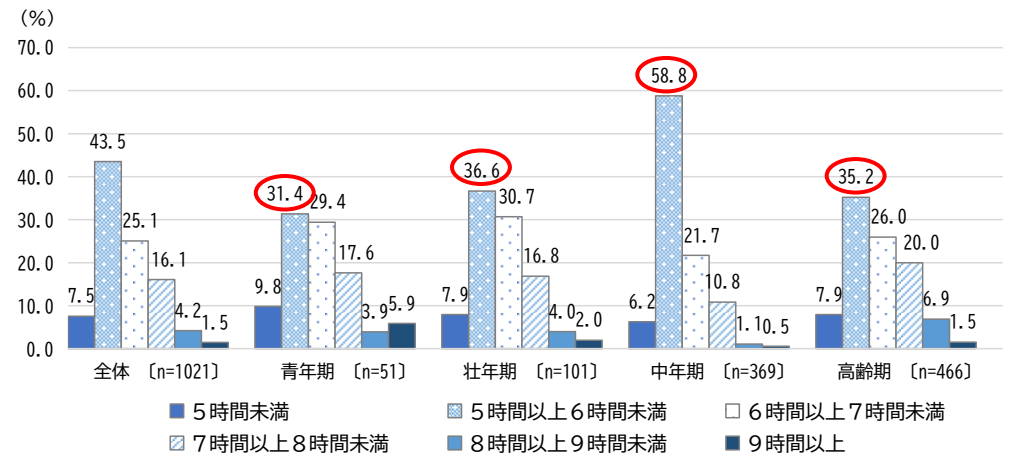
睡眠による休養が十分とれていないと回答した人の割合は40.0パーセントで、前回調査と比較すると13.3ポイント増加し、目標値の25.0パーセント以下に達していません。また、ライフステージ別に見ると、中年期が54.7パーセントと半数を超えているとともに、青年期では約4割、壮年期と高齢期では3割を超え、前回調査よりも増加しています。1日の睡眠時間では、どのライフステージでも「5時間以上6時間未満」の回答が最も多く、特に中年期においては約6割を占めており、全体的に睡眠時間が十分とれていない人が多い状況です。

アンケート⑧【睡眠による休養について】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

アンケート⑨【1日の睡眠時間】



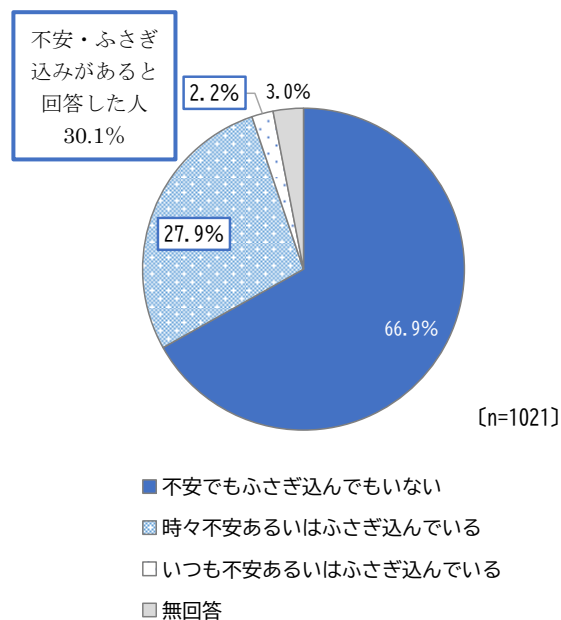
資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

(イ) 不安・ふさぎ込み アンケート⑩⑪⑫

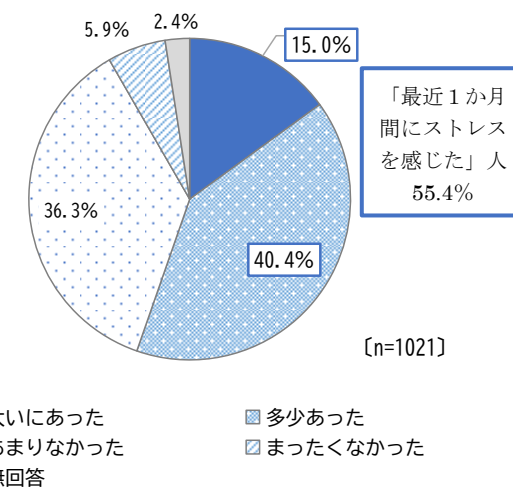
「時々不安あるいはふさぎ込んでいる」、「いつも不安あるいはふさぎ込んでいる」と回答した人の割合は30.1パーセントで、目標値である31.0パーセント以下を達成しています。また、「最近1か月間にストレスを感じたか」の問いに「大いにあった」、「多少あった」と回答した人の割合は55.4パーセントで、前回調査と比較すると9.1ポイント減少しています。ストレスを感じる主な原因は「家族のこと」が36.5パーセントと最も高く、「仕事上のこと」が31.3パーセント、「健康のこと」が26.3パーセントと続いています。

不安やストレスと上手に付き合っていくためには、自分に合った対処方法を知っておくことが必要です。また、専門の相談機関につなげるために、相談しやすい環境を整備することも重要です。

アンケート⑩【不安・ふさぎこみ】



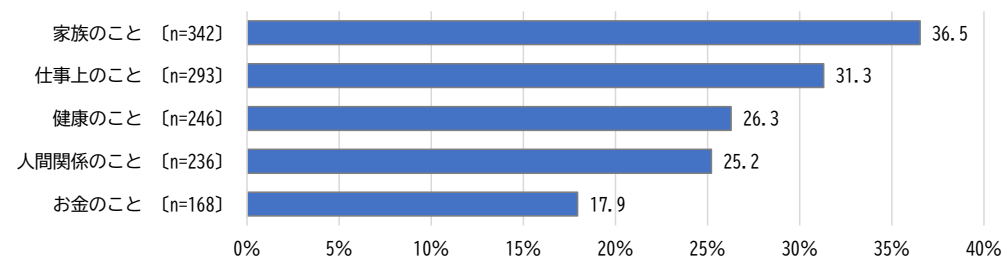
アンケート⑪【最近のストレスの状況】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

アンケート⑫【ストレスの原因（上位5項目）】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

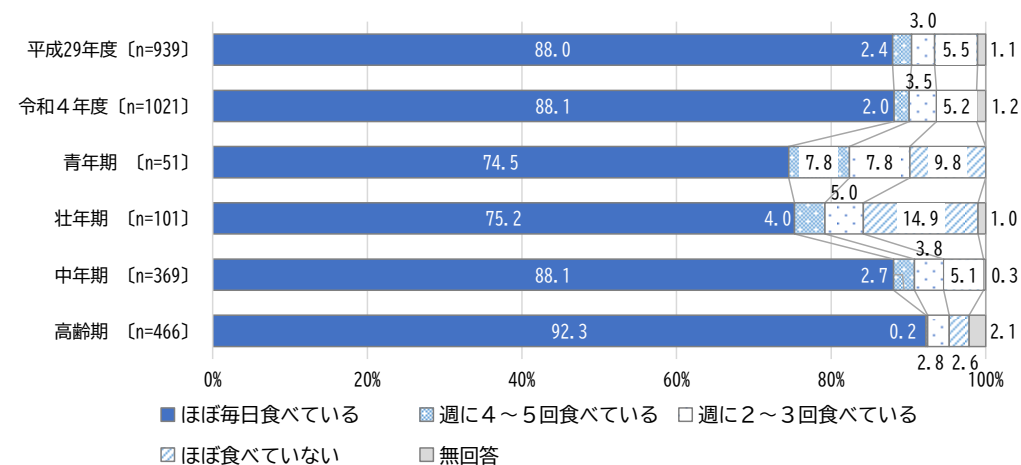
(2) 食育推進計画

ア 生涯を通じた食育の推進 アンケート⑬

(7) 朝食

「ほぼ毎日食べている」と回答した人の割合は、88.1パーセントと、前回調査から0.1ポイントの微増にとどまり、前回の目標値93.0パーセントには達していません。また、ライフステージ別では青年期・壮年期の「ほぼ毎日食べている」と回答した人の割合が他のライフステージと比較して少なく、学生や働き盛り世代の欠食している人の割合が多いことが問題です。

アンケート⑬【朝食について】

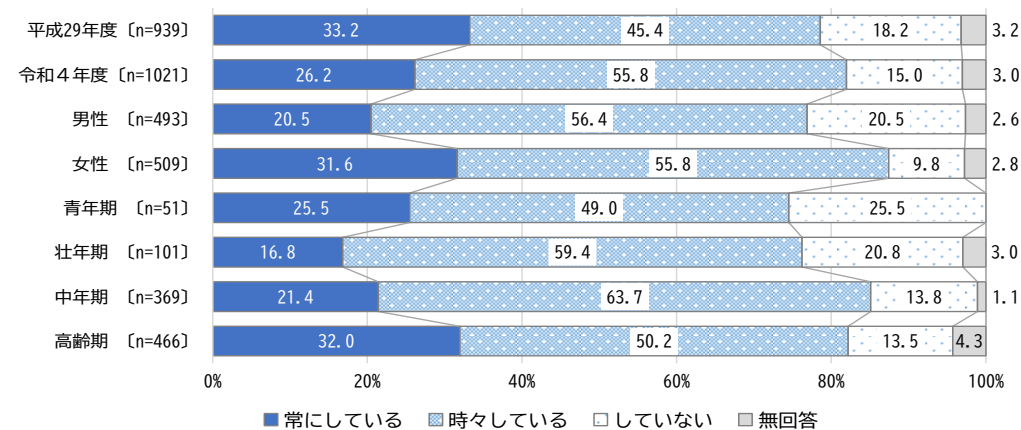


資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

(イ) 栄養のバランスや食事の量 アンケート⑭

「ふだん栄養のバランスや食事の量を考えていますか」の問いに「常にしている」と回答した人の割合は26.2パーセントと前回調査33.2パーセントより7ポイント減少し、目標値38.0パーセントに達していません。また、男女別・ライフステージ別で比較すると、「していない」と回答した人の割合が、男性と青年期・壮年期に多く、栄養のバランスや食事の量について意識していないことが分かります。

アンケート⑭【栄養バランスや食事の量について】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

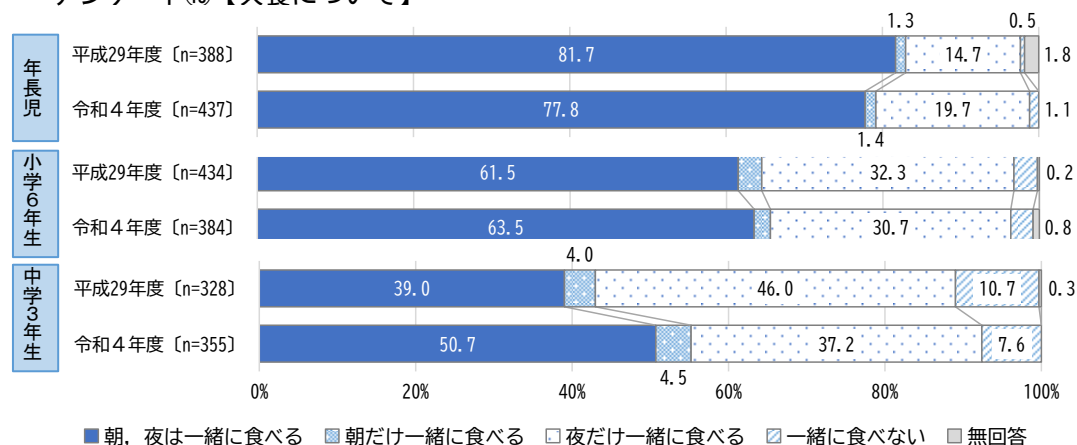
イ 食環境整備体制の推進

(7) 共食 アンケート⑮

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため示された行動指針「新しい生活様式」への対応に伴う暮らし方や働きの変化によって、家族と過ごす時間に変化が見られる中、年長児、小学6年生に大きな変化は見られませんが、中学3年生は「朝、夜は一緒に食べる」と回答した人の割合が前回調査（39.0パーセント）と比較して50.7パーセントと改善は見られます。

しかし、いまだに家族と一緒に食事をしない子どもがいます。

アンケート⑮【共食について】

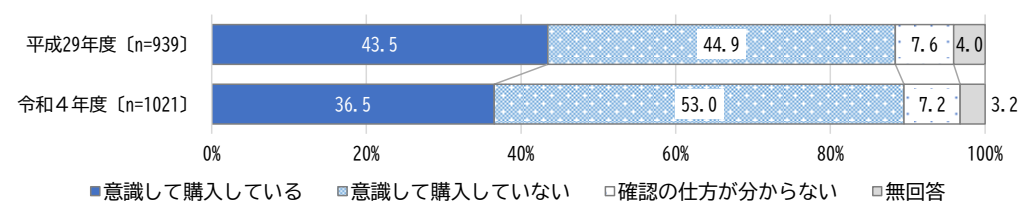


資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

(イ) 地元の食材 アンケート⑯

令和4年度において、地元の食材を「意識して購入している」と回答した人は36.5パーセント、「意識して購入していない」と回答した人は53.0パーセントでした。また、前回調査と比べて、「意識して購入している」と回答した人が7ポイント減少しており、地元の食材への関心が低い傾向です。

アンケート⑯【地元の食材について】



資料 呉市健康づくり・生活習慣に関するアンケート調査

5 第4次計画の概要

(1) 計画の目指すべき姿・基本目標・基本的な方向・施策の推進方針・重点分野

目指すべき姿

誰もが、住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けることができるまち

基本目標

健康寿命日本一のまち「くれ」の実現

基本的な方向

- 1 個人の行動と健康状態の改善
- 2 社会環境の質の向上
- 3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進
- 4 健康な心身を育む食育の推進

施策の推進方針

【健康増進計画】

健康は、生活の質を決定する重要な要素です。生涯にわたり健やかで心豊かに生活していくためには、健康に関する各分野において、生活習慣の改善が必要となります。

そこで、健康づくりに関する施策については、6分野を重点分野と定め、それぞれの目指すべき姿を目標に具体的施策を体系化し、家庭、学校、職場、地域などの社会全体で健康づくりを推進することができるよう支援します。

【食育推進計画】

「食」は健康づくりの基本であり、生涯にわたっていきいきと暮らすために、重要な役割を担っています。市民一人一人が自らの食について考え、食を大切にする心と食に関する正しい知識を持ち、食を正しく選択できるよう、食育を総合的に推進していきます。市民の食育推進に関する施策については、2分野を重点分野と定め、それぞれの目指すべき姿を目標に具体的施策を体系化し、家庭、学校、職場、地域など社会全体で食育を推進することができるよう支援します。

健康増進計画

【重点6分野】

- 1 身体活動・運動
- 2 栄養・食生活
- 3 歯と口腔の健康
- 4 飲酒・喫煙
- 5 生活習慣病発症・重症化予防
- 6 こころの健康

食育推進計画

【重点2分野】

- 1 生涯を通じた食育の推進
- 2 食環境整備体制の推進

(2) 重点分野・目指すべき姿・主な取組（健康増進計画）

重点分野	目指すべき姿	主な取組
1 身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った運動や身体活動を増加させる方法を知り、継続的に実践することができる。 ・地域で気軽に体を動かす機会、健康づくりのための知識を得る機会、自身の筋肉量・筋力などを知る機会を持ち活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつでもどこでも+10（プラステン）運動」の推進 ・ロコモティブシンドローム予防のための普及啓発
2 栄養・食生活	【食育推進計画に含める。】	【食育推進計画に含める。】
3 歯と口腔の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった口腔ケア方法を身に付け、継続することができる。 ・口腔機能を健康に保ち、生涯自分の歯（口）でおいしく食べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防の啓発 ・歯周病予防の啓発 ・健康教育（口腔機能の育成・獲得）
4 飲酒・喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ・適正飲酒を心掛け、妊娠中はお酒を飲まない。 ・喫煙の影響及びそれに伴う健康被害を知り、たばこを吸わない。 ・受動喫煙について正しく理解し、受動喫煙防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦への禁酒指導 ・適正飲酒についての啓発 ・妊婦への禁煙指導 ・健康教育
5 生活習慣病発症・重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に健診・がん検診を受診することで、自分の健康状態を把握し、病気の発症予防に生かすことができる。 ・病気について知り、支援を受けることで自ら病気の重症化予防に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診のアクセシビリティの向上 ・がん検診要精密者への受診勧奨 ・ヘルスサポートくれ推進事業 ・糖尿病性腎症重症化予防 ・骨粗しょう症治療再開勧奨
6 こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する正しい知識を理解し、十分な休養をとることができる。 ・自分自身や身近な人のこころの不調に気付き、周囲の人や専門機関に相談できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりの啓発

(3) 重点分野・目指すべき姿・主な取組（食育推進計画）

重点分野	目指すべき姿	主な取組
1 生涯を通じた食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日3食，子どもから高齢者までライフステージに応じたバランスのよい食事をすることができる。 ・ 生活習慣病等の予防や改善につながる食事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ごはん食べよう運動 ・ 食事バランスガイド・ランチオンマットの普及啓発 ・ 世代に応じた適塩及び減塩の教室の開催
2 食環境整備体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食に関心を持ち，様々な体験や情報等を通して，食への感謝の気持ちを育むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育に関する啓発 ・ 水産教室 ・ 農業体験・食農支援事業

6 第4次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）（案）に対する市民からの意見募集

今後のスケジュール

(1) 意見募集をする案件名

第4次健康くれ21（健康増進計画・食育推進計画）（案）

(2) 意見募集期間

令和5年12月20日（水）から令和6年1月19日（金）まで（31日間）

(3) 計画案の周知方法

ア 呉市ホームページへの掲載

イ 呉市役所本庁舎3階福祉保健課窓口，1階シビックモール及び各市民センター（支所）窓口における配布

(4) 意見書の提出

意見書に必要事項（意見内容並びに住所，氏名及び電話番号）を記入の上，郵送，ファクシミリ，電子メール，電子申請又は持参（福祉保健課及び各市民センター（支所）の窓口）により提出

(5) 意見の公表場所

ア 呉市ホームページへの掲載

イ 呉市役所本庁舎3階福祉保健課窓口，1階シビックモール及び各市民センター（支所）窓口

時期	内容
12月中旬	呉市ホームページ及び市政だより1月号で意見募集の通知
12月20日	意見募集の開始
1月19日	意見募集の締切
1月下旬	健康くれ21市民推進会議における計画案の審議
2月上旬	呉市保健福祉審議会保健所専門分科会への意見募集同分科会における計画案の審議
2月上旬	呉市保健福祉審議会からの答申
3月上旬	民生委員会への意見募集結果及び最終計画案の報告
3月中旬	計画の策定並びに意見募集結果及び計画の公表